（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス　のぞみ上甲子園			
○保護者評価実施期間	2024年　11月　25日	～	2024年　12月　21日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	26名	（回答者数）	23名
○従業者評価実施期間	2024年　11月　25日	～	2024年　12月　7日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8名	（回答者数）	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　1月　18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちにとっての居場所作り 家庭（学校）以外の場所で安心して過ごせる、心理的安全性を感じられる空間、環境作りを意識している。	・入室、退室時の出迎え、見送り、挨拶 ・健康チェック（その日の体調や気分を把握する為） ・自由時間の確保（短い時間であっても、個々のペースで過ごせる時間を設けている） ・空間の棲み分け（プレイルーム、休憩スペース等）	・自分らしく居られる居場所作り ・特性の理解を深める ・安心、安全で見守りが出来る職員配置を行う
2	・野外活動時の様々な経験や体験 様々な場所へ出かける楽しさ、興味関心を広げる、移動時や外出先でのルール（マナー）を学べる機会としている。	・外出先が偏らないようにしている ・興味関心を広げる、余暇や就労に繋げるきっかけ作り ・交通ルールを学び、安全確認や身を守る意識づけ ・公共交通機関の使用、乗車券やICカードの使用	・公共交通機関を使用した外出の機会を増やす ・卒業後の進路や就労のイメージが持てるような場所への見学や体験の機会を作る ・子どもたちと一緒に外出先を決めたり、話し合う場を作る ・移動時や外出先でのマナーの強化
3	・社会性を身につける（買い物体験など） 人との距離感やコミュニケーションの向上、 お金の使い方（金額の計算など）、自己選択や自己決定の機会としている。	・集団活動、集団遊び、当番活動等で他者と関わる機会 ・買い物体験を通して計算力の向上、金銭の授受を学ぶ ・自己理解を深める（好き嫌い、欲） ・失敗、成功体験から気づきを得る	・買い物の機会が単発的なので、継続性を持って取り組む ・SSTに取り組む

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修制度の充実化（社内外）	・必要な研修を設定し、年間計画に当てはめられていない ・学びや知識を深めるより、日々の経験や状況から判断、対応していることが多い ・職員間の知識、スキルのバラつき ・利用者の特性やニーズの共通理解が追い付いていない	・義務付けられている研修に加え、必要な研修を自社内外で定期的、継続的に開催（受講）出来るようルール化する ・個々のスキルアップ、知識の向上を目指す ・職員間の共通理解、支援の方向性を合わせていく
2	個別課題の強化、内容の充実化	・個別課題を習慣づけられていない為、手持無沙汰な時間が生じている ・個々に合わせた個別課題の作成、提供が出来ていない	・個々に合わせた個別課題を作成し、楽しみながら学べるよう工夫していく
3	性教育の強化（職員、児童とも）	・職員が性教育に対する知識を深められていない ・思春期を迎えた児童、その家族へのアドバイスや相談を積極的に行えていない ・性についてだけでなく自己理解、他者理解にも繋がる為	・性教育の知識を深めるための勉強会を実施していく ・同性介助が出来るよう、男性職員の雇用を積極的に行う

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービスのぞみ上甲子園

公表日　2024年　2月　14日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・限られた環境の中で勉強、休憩、個別のスペース等、すみ分けをしている ・運動スペースがある ・少しの運動が出来る広さがある ・集団遊びで身体を動かすことの出来るスペースがある	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・活動内容、利用児童の状態等を考慮し、配置している	・いつもでは無いが、利用者が多い日で職員数が少ない日がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・行動の手順書や動きの動線を考えた物の配置と環境設定をしている ・トイレ内に手すりを設置しているが、元々の構造上、配慮には限界がある ・階段動線とエレベーター動線がある 生活空間は２階であるが、バリアフリーや階段、エレベーターの動線がある	・トイレの入り口、トイレの中が狭く、身動きが取りづらい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日、業務終わりにプレイルームやトイレの清掃、消毒を欠かさず行っている ・業務後プレイルーム、トイレ、階段など手すりや机、椅子など備品を含めての清掃、消毒や、次亜塩素酸の消毒液を噴霧し、空間除菌を行っている ・毎日、消毒も合わせて掃除が出来ている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・落ち着くため、切り替えのためなど必要に応じて個室の利用ができるようにしている ・別室がある（個室）	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・定期的にミーティングの場を設けて、事業所内の課題を出している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・例年通り、年に1回で実施している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎月必ず会議を行い問題点など共有し改善するようにしている ・職員間のコミュニケーションが多く、意見が言いやすい環境である ・普段から話しやすい雰囲気作りがされている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・市内他事業所との相互評価を行っている ・定期的に視察がある	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			・研修は必要に応じて行っている状況なので、定期的に開催していくことが今後の課題である
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・多方面から意見を出し合い作成している ・その時の困りごとや必要なことを取り入れている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・定期的にアセスメント、ニーズの見直しをしている ・保護者のニーズが出来るだけ反映できるよう努めている ・保護者とのコミュニケーションを取り、作成している	

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・サービス担当者会議を開催、実施する中で本人理解を深めたり、支援の方向性を合わせている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		・支援計画の更新時のみではなく、日々の中で支援計画を見る機会、計画に沿った支援を意識している ・書面、口頭の両方で常に共有されている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・契約時に標準化されたアセスメントシートを使用している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・放課後デイサービスガイドラインに沿った、目標設定や支援計画の作成を意識している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・当日のリーダーを中心に相談して決めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節感、行事を意識して組んでいる ・固定化しないように内容を変え活動の場も広げている ・アイデアを出して変えるようにしている ・集団遊びや野外活動など、常に新しいプログラムの取り入れを考えている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・日々の様子、状況に合わせて作成している ・はじめの会までは個別、その後は集団で活動している ・子どもによっては個別課題を与え、支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日子ども達の利用前に打ち合わせの時間を取り、情報共有している ・リーダーを決め、担当や役割、その日の注意事項などを打合せしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。		○	・振り返りという文言は使っていないが、個々の感じたことや思ったことは共有できている	・振り返りが次に活かせるようにしているが、毎日は実施出来ていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・毎回、個別に記録を取り、職員全員が共有出来るようになっている。	・日々の様子や支援計画の目標を振り返り、個別の記録を残しているが、記録の取り方はスタッフによって差が出ているので、統一していくことが今後の課題である
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に１回のペースでモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・のぞみ上甲子園での様々な活動を通して、自己選択や自己決定の機会を増やせるよう意識している ・自力で出来ることを増やせるよう心がけている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・会議には管理者が参加しているが、事前に他スタッフから情報収集している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・送迎時に情報は共有している	・送迎時に学校での様子を聞き、把握に努めているが、担任教師と会わない学校もあり、密な情報共有が出来ていない

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・利用開始前に引き継ぎ会議を実施し、情報共有している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・卒業前の支援会議で引き継ぎと情報共有をしている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	○		・出来るだけ、多くの研修に参加出来るように調整している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・交流は設けていないので何か活動を通して交流の機会をもつ
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・西宮市児童通所支援連絡会に参加し、情報提供や共有をしている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・HUGでのサービス提供記録、毎日の送迎時、電話において様子を具体的に伝えている ・送迎時に保護者と直接お会いし、会話を通して共通理解の機会としている。 ・送迎時に保護者と話す時間を取っている ・送迎時も常に保護者との会話を心がけている ・その日の出来事や体調等を、極力伝えるようにしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・外部の研修を各保護者に案内している	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時に必ず説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・面談や電話で意向の確認を行っている ・密に話をして作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。			・支援計画の更新時や計画作成時に必ず支援内容に説明を行い、同意を得ている ・密に話をして作成している	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・電話懇談の際に悩みや相談の聞き取りをしている ・相談には面談以外にも、電話でも応じている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・コロナ前までは保護者同士の交流の場作りを行っていたが、その後再開できていない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情以外にも保護者からの要望などがあった場合、迅速に対応出来るようスタッフ間で情報共有を徹底している ・迅速に誠意を持って対応している ・迅速な対応を心がけている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・Instagramを活用して日々の様子や取り組み、イベント活動の様子を発信している ・SNSで発信している	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報は鍵付き書庫で管理している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・選択カード等を使用して意思疎通を図っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・コロナ前までは近隣の方を招待する等のイベント事をしていたが、今は出来ていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを事務所内に掲示している ・定期的に実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・年間でスケジュールを組み、年2回以上の避難訓練を実施している ・避難訓練や、設備点検を定期的に行っている ・定期的に実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・保護者の方と事前に情報共有したり、服薬時の注意事項などを確認し、職員間でも共有を行っている ・服薬がある時は毎回共有している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師の指示書が出ている児童はいないが、食物アレルギーに対しては保護者と情報共有して対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・年間でスケジュールを組み、安全点検を定期的に実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット内容を会議等で共有している ・何かあった時は、書面で職員が共有している ・トラブル等、回覧や１人１人に伝えてくれる	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年間でスケジュールを組み、年2回以上の虐待防止研修に参加している ・全スタッフ対象の虐待防止研修を年二回以上行い考えの共有等を行っている ・全員が研修を受け、レポートをかいている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

保護者等向け　放課後等デイサービス評価表

公表日：　2025年　2月　14日

事業所名：放課後等デイサービス　児童デイサービスのぞみ上甲子園　　対象人数（保護者）26人　回答者数 23人　回収 88.5%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2		1	1	・10人の定員では、スペースが狭く感じる。 ・活動時間帯の様子をみることがなかったので、よくわかりませんでした。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	4		4	1	・少ないと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※１)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	3			1	・事業所の階段が急すぎて危ないし、玄関戸がないので安全面に不安があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22				1	・心地良さはいいと思うのですがら、活動に合わせた空間かと言われると、もう少し狭いと思う。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1			1	・我が子に関しては、特長をとらえて指導して頂いていると思います。あと、学力面の簡単なサポートも、あれば良いとは思う。
	6	事業所が公表している支援プログラム(※２)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	3				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）(※３)が作成されていると思いますか。	21	1			1	・ニーズに合わせているかと言うと微妙ですが、計画書には沿ってやって頂いていると思います。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10	事業所の活動プログラム(※４)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22				1	・年間通して、ワンパターン化していると思う。 もっと色々な事が出来ると思います。 ・いつも色々な場所に連れて行ってもらえたり、活動も工夫されていて、帰って来た子どもの笑顔で楽しかったことがわかります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	1	12		・のぞみ以外の子どもたちとの交流は難しいのかな？と思う。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※５)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	2	1	3		・以前は、なかった気がしますが、最近はweb上での提供情報が少しあると思います
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1		2		・送迎時に詳しく教えてもらえるので嬉しいです。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22				1	・共感に関しては、一部の職員のみかと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	6	1	5	1	・以前は季節のイベントなどで他の保護者さんと交流する機会がありましたが、コロナのあとはなくなってしまって残念に思います。また開催して欲しいです。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1	1	2		

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	2		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22		1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2		6		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	2		2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	22		1			

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。
これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されていま。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。